

地方
小出版

情報誌

アクセス

| | |
|------|----------------------|
| 毎月1回 | 1日発行 |
| 購読料 | 定価 150円 (本体 143円) |
| 年間 | 1,500円(税込み) |
| 振替 | 00120-0-19017 |

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

『言葉のフーガ』発刊に寄せて — 充実した大冊 —

文・杉本秀太郎

『吉田秀和全集』二四巻(白水社)が出そろった二〇〇四年、この人は九十一歳に達していた。それから今にいたるまで、その手は休みなく言葉をつらねている。

もっとも近くは『永遠の故郷』四巻(集英社)が二〇〇八年から年ごとに一卷の刊行を見て二〇一一年に完結。著者九十八歳。六十余年つづけてきた音楽批評の冒険が、なお未踏の地として残していると自身で判断した近代現代の歌曲(リート)の領域に分け入り、肉声に乗る歌が人の心身に染みこむ不思議に思いをこらして、歌唱の魅惑に迫った。そこには音楽の与える一切を言葉に変えるために、長いあいだにこころみ、工夫をかさね、仕事の成否に快楽と苦悩を味わい尽くした人の、言葉の技法が駆使されている。だが、技法はけっして表面にはあらわれず秘められているので、吉田秀和を読む人は、気取らず気負わぬ平易な文章に心身を寄り添わせ、吉田秀和とともに一喜し一憂しているうちに、遠いところ、深いところへみちびかれる。

「永遠の故郷」とは何か。これを表題としたことについて著者は一言も解説しない。当節の世の中には、たれも使うことのない「永遠」という形容を伴っている「故郷」。これは大胆な度胸のすわった表題である。それは何処に？

「それ」を指す詩が一つ、甦ってくる。ボードレールの「旅にさそう」と題された艶体詩。目当ての婦人をオランダの旅にさそう書簡詩。なかに繰り返して三回、一区切りごとにあらわれるのは次のような詩句——「あそこなら、ととのって美しく上等なものばかり。



『言葉のフーガ 自由に、精緻に』(四明書院刊)

ところをなだめてくれるもの、そして気をそそるものがいっぱいある。」そういう室内の調度、天井、鏡、花瓶の花、焚く香の匂い、オリエントの絨毯、「すべては魂にむかって、魂の生まれ故郷のひそやかな言葉を話しかける」と詩はつづく。

吉田秀和によって生成される言葉の宇宙もまた、時として官能の彩紋を伴っている。それは人としてあるがままの姿をこの人が隠そうとはせず、人間の条件を裏切ることがないからである。

人の長所のうち、特にあるべきものとして、デカルトは「気前の良さ」を挙げている(『情念論』)。出し惜しみをしない人。形のあるもの、形をなさないもの、いずれにせよ、自分の持ち物

はまた万人の持ち物であって然るべきなのを弁えている人。人に物をあげるのに、惜しくもないものをいくら提供したところで、相手はすぐさまその値打ちの低さに気づき、お礼は口先だけのことになる。これでは人と人とのあ

いだの礼儀に反している。一方、手に入れるのについてやした苦心や金銭にこだわらず、愛着の残るものを気前良く人に与えることは礼儀に適っている。社会に生きている以上は、気前の良さあって礼儀が活きる。いま、かような理屈をいったのは、吉田秀和という人は、この人の書くものすべてにわたって、気前の良さを示している、そのことを言いたかったのである。

演奏者、作曲家、指揮者、曲目を扱う音楽評論には、専門知識に加えて、エピソード、ゴシップを含む新旧の情報知識が集合しているところに批評根性が割り込み、雑然とした混合を呈している

ものが、昔も今も少なくない。知っていることをぶちまけると、気前の良さとは、ちがう。知識、知見のうちから充分考えて採り出したものを緊密、内的な相関にもとづき、文章の動勢にしたがって、軽重の均衡を乱さず、人にうまく伝えるのが、ここでいう気前の良さなのと言うまでもないだろう。

吉田秀和は音楽批評家にとどまっていない。グリュネヴァルト、セザンヌ、アンリ・ルソー、マネをそれぞれに扱った絵画論もまた、この人の上首尾なエッセーとして、音楽論と並立している。

音楽をどう聞くかという大きな問いと、絵をどう見るかというもう一つの大きな問いは、どちらを先とも後とも、どちらが上とも下とも決め難いものと

して、この人のうちには早くから共存していた。この二つの問いにみづから答えたものが吉田秀和の文業となって積もりに積もっている。文業、すなわちこの人の書くものは現代日本語による散文の一つの頂点であり、またそれはそのまま一つの深みを呈している。

さて、この本『言葉のフーガ 自由に、精緻に』は『吉田秀和全集』二四巻か

ら厳選された長短さまざまな二九篇を取めている(但し、なかに一篇だけ、『永遠の故郷』からリヒャルト・シュトラウスの歌曲を取り上げたものが混じっている)。これを出版した四明書院の主人・山本康氏は、白水社在動中に、ほかならぬ『全集』の編集を果たした人である。著者の白寿(九十九歳)を祝う心でこの本を新たに編集し、いかに

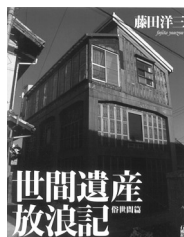
も「本」らしい堅牢で美しい六百頁(一段組)の大冊にまとめ、破格の廉価で出版。四明書院主のこの志に感じた人は、かならずや手元にこれを置いて下さることだろう。読者を欺かない充実した一巻である。

(すぎもと ひでたろう/文芸評論家)

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

『世間遺産放浪記 俗世間篇』●藤田洋三著



書名からは「世界遺産」のパロディ本かと仮想するが、そうではない。野に捨ておかれ忘れ去られたような建造物、たとえば土壁や石積みみの塀、屋根、小屋、敷石、道、橋、塔、窯、窓ガラスといった多種多様な造形物を、西日本を中心に列島各地に探し歩く。その数360点、そのすべてが、簡潔な解説付きのすばらしい写真からなる。なまこ壁やこて絵、その材料である石灰や土について

はとくに詳しい。いわば暮らしと風土が生んだ庶民の遺産、日本の残像を訪ねる旅ともいえる。これら歴史を無言で語る路傍の物たちを、著者の目をおして見ると、一転して生き生きと輝いてくるから不思議で、なんとも面白い本に仕上がっている。

◆2835円・A5判変型・306頁・石風社・福岡・2011/12刊・ISBN978-4-88344-208-9

『リズムの本質について』●ルードヴィヒ・クラークス著/吉増克實:平澤伸一訳著



クラークスの思想の根底には、精神と生命という二項の対立があるのだが、本書ではそれらが「拍子とリズム」という二項に変奏されている。これが時に様々な側面から「意識と体験」「反復と更新」「覚醒と睡眠」「緊張と弛緩」といった二項へと置き換えられながら、リズムの本質へと迫る考察が展開される。そして遂には「分極した連続性としてのリズム」という魅惑的な概念に行き着くので

ある。研究の書というより叢知の書というのが相応しい。なおこの原典の翻訳はすでに他社から刊行されているのだが、クラークスの主著にあたる『心情の敵対者としての精神』(うぶすな書院刊)との訳語の統一を含めた有機的関連性という観点から新訳の刊行となった。

◆1890円・四六判・151頁・うぶすな書院・東京・2011/12刊・ISBN978-4-900470-27-9

『地球を活かす 市民が創る自然エネルギー』●伊藤千尋著



自衛隊東富士演習場。日本の象徴に向けて打ち込まれる砲弾。富士が立っている、だけど演習場以外の代案がないとの住民の声を耳にし、富士には戦闘よりも銭湯が似合う、ここに巨大露天風呂ができないか、世界一広い露天風呂といえばアイスランド、アイスランドには地熱発電、技術は世界一なのにどうして火山大国日本でそれができないのか。限りなく発想が膨らむ。脱原発を決めた

ドイツ、自然エネルギーに転換する欧州、アメリカの尾根を埋める風車。世界の実情を知ろう、国民の安全を放った不毛な論議は止めよう、福島を教訓から学び日本の進むべき道を考え、社会を変えるために行動しようと呼びかける。

◆1050円・四六判・160頁・シネ・フロント社・東京・2011/12刊・ISBN978-4-915576-25-6

『津波 TSUNAMI!』●キミコ・カジカワ再話/エド・ヤング絵



「いそげ。高台ににげるのじゃ」じじさまは丘の上から声を限りに村人に叫んだ。大津波から人々を救うため稲わらに自ら火を放つじじさま。果たして村人たちの運命は? 本書は実話を基に小泉八雲が発表した「生神様」を米国在住の著者が再話化した絵本。「じじさま」とは村の長老で、彼もまた地震の後のただならぬ海の様子を見て、自分も幼い頃におじいさんから聞かされた話を思

い出し、津波の襲来に気づく。語り継がれる先人の教えの大切さ、津波の恐ろしさ、身の守り方。今後に生かしたい教訓が詰まっている。和紙などをあしらい、津波の脅威を表現したエド・ヤングの美しくも大胆なカラーイラストも見事。

◆1680円・297mm×245mm・32頁・グランまま社・東京・2011/10刊・ISBN978-4-906195-63-3

売行良好書

期間：2012年1月16日～2月15日

[出荷センター扱い] ※税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・円・ナナロク社 (2)『医者は現場でどう考えるか』2940円・円・石風社 (3)『小出裕章 原発と憲法9条』1470円・円・遊絲社 (4)『わたし、少しだけ神さまとお話できるんです』1470円・円・文屋 (5)『あの人がいた』1680円・円・街から舎 (6)『世間遺産放浪記 俗世間篇』2835円・円・石風社 (7)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・円・書籍情報社 (8)『赤いおおかみ』2415円・円・古今社 (9)『言葉のフーガ 自由に、精緻に』2520円・円・四明書院 (10)『砂糖の通った道』1890円・円・弦書房 (11)『低線量・内部被曝の危険性』1050円・円・耕文社 (12)『未踏の野を過ぎて』2100円・円・弦書房 (13)『心がもっと軽くなる』1575円・円・アートヴィレッジ



[三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『東京かわら版 2月号』500円・東京かわら版 (2)『素数表150000』375円・暗黒通信団 (3)『北の無人駅から』2625円・北海道新聞社 (4)『未踏の野を過ぎて』2100円・弦書房 (5)『温泉番長ほっかいどう book1』780円・海豹舎 (6)『自然対数の底100万桁表』284円・暗黒通信団 (7)『武蔵成田氏』3990円・岩田書院 (8)『円周率100万桁表』330円・暗黒通信団 (9)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社 (10)『酒とつまみ 14号』400円・酒とつまみ社

[ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書] ※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『女王様挫折記 増補改訂版』315円・暗黒通信団 (2)『北吹やすらぎ散歩』1995円・石風社 (3)『植草甚一の勉強 1967-1979 全著作解説』1680円・本の雑誌社 (4)『昭和プロレスマガジン 25』1000円・昭和プロレス研究室 (5)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』735円・吉備人出版 (6)『温泉番長ほっかいどう book1 基本級』780円・海豹舎 (7)『医者は現場でどう考えるか』2940円・石風社 (8)『あの人がいた』1680円・街から舎 (9)『サムライ・ノングラータ』1890円・フリースタイル (10)『きんこん土佐日記7』980円・高知新聞社

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
本と出版流通のページ：<http://neil.chips.jp/>

トピックス ——— ★★★

▼オンライン地方史専門書店

当初2012年1月中の開店を目指して準備していたセブンネットショッピングの地方史郷土史専門店ですが、2月末頃にずれ込みそうです。現状、約2000点ほどの品揃えとのことですが、すべての都道府県が網羅され、抜けているところはありません。ただ多少の偏りは否めず、沖縄や長野など出版活動が盛んな県は点数が抜kindでおり、逆に点数が少なすぎる県もありません。いずれにせよ、在野の郷土史家や作家の方々等に愛されるコーナーになってくれるのを祈って止みません。

▼古事記イヤー

今年は古事記編纂1300年にあたる年だということで、ゆかりのある地域ではさまざまなイベントなどが企画されているようです。今後各地の出版社から古事記関連書籍が刊行されると思いますが、その鑄矢となるか。歴研刊『古事記が語る神話の世界—民族最古の文化遺産』(片山和男著3150円)は、『古事記』前段の神話の部分に焦点を当て意識、論考したもの。また昨年11月には、島根の大元出版から『古事記の編集室—安万侶と人麿たち』(齋木雲州著1950円)というユニークなタイトルの本が出ています。

郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。


◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。

◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。

★地方・小出版流通センター

FAX：03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM～8:00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

**営業の
ごあんない**

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

